

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ禍で例年なされてきた、地域の人たちとの交流、家族との面会が制限されている。	地域の人たちとの交流、家族との面会の機会を安全面に配慮しながら拡大する。	オンラインによる交流を地域の人たちも巻き込んで試みていく。	6ヶ月
2	38	通常自然災害に加え、コロナ禍も一種の災害で、長期に及ぶと考えなければならない。この長期戦に耐えられるための体制を整備する必要がある。	災害時、自施設で少しでも対応できるように、物品等を整備する。また民家改造型でコンパクトな空間での認知症介護であり、その利点を生かしながらも、密になりがちなスペースで、感染防止を強化する。	①災害時の非常食の備蓄場所をホーム内に確保。 ②自家発電装置の整備。 ③感染防止のための新たな面会場所の確保。 ④感染防止の備品の整備。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。